

令和3年度 施政方針



今後10年間の新たなまちづくりを目指して ～まちの将来像と5つの政策の柱～

これからも市民と行政とによる協働のまちづくりを進めていくためには、子どもから高齢者まで、本市に集うすべての人が未来の尾花沢を具体的にイメージできることが大切です。
「こんな尾花沢がいいな」という、これからの10年間で目指していく「まちの将来像」を、次のとおり決めました。

まちの将来像

このまちで ともに 生きる
しあわせな時を刻むまち 尾花沢

5つの政策の柱

政策の柱1
(産業振興)

キラリと光る
産業のまち

※主な事業
4ページ

政策の柱2
(子育て・教育)

ふるさと愛を
育むまち

※主な事業
5ページ

政策の柱3
(健康・医療・福祉)

健康長寿と
絆のまち

※主な事業
6ページ

政策の柱4
(都市基盤・住環境)

暮らしやすく
住み続けられる
まち

※主な事業
7ページ

政策の柱5
(協働・行財政)

笑顔の花咲く
交流と協働の
まち

※主な事業
8ページ

<4つの重点プロジェクト>

まちの将来像の実現に向け、各分野で連携し、4つのテーマで重点プロジェクトを掲げます。これらのプロジェクトでは、時代の流れを捉えながら、ライフステージごとに変化する市民のニーズに寄り添ったまちづくりを進めます。

- **ふるさと一番！定住促進プロジェクト** (9ページ参照)
若い世代の地元定着とふるさと回帰をめざして
- **あのまちで暮らしてみたい！移住促進プロジェクト**
移住の地として選ばれるまちをめざして
- **子育て日本一への挑戦！子育て応援プロジェクト**
出会いから結婚、子育てを応援するまちをめざして
- **生涯幸せ！健康長寿プロジェクト**
年を重ねても暮らしやすさを実感できるまちをめざして



令和3年度は「第7次尾花沢市総合振興計画」のスタートの年度です。市民の皆さまからは、様々な場面を通じて貴重なご意見をお寄せいただきました。それらを踏まえて策定した、新たなまちづくりの指針に基づき、施策を展開していきます。

新たな将来像の 実現に向けて

新しい計画では、これからの10年間で目指していくまちの将来像を、「このまちでともに生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢」としました。これまで目指してきた「元氣な尾花沢」をさらに前進させながら、先人たちが築き上げた本市の魅力を引き継ぎ、さらに次世代へつないでいけるよう、将来にわたって持続的に発展できるまちづくりを進めます。

そして、子どもたちの笑顔と若者の夢が輝き、一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりに取り組み、市民の皆さまには「このまちに住んで良かった」、市外の方には「あのまちで暮らしみたい」と思ってもらえるような尾花沢を目指していきます。

5つの政策の柱と 重点プロジェクト

新たな将来像の実現に向けて、5つの「政策の柱」を基本目標に掲げます。特に今年度は、「第

7次尾花沢市総合振興計画」の初年度に着実なスタートを切ることができるよう、社会の流れを踏まえた新たな取組みに果敢にチャレンジしていきます。

また、人口減少対策と地域活性化に向けた取組みをさらに加速させるため、4つの重点プロジェクトを設けます。これらのプロジェクトでは、ライフステージごとに変化する市民ニーズに寄り添いながら、生涯にわたって暮らしやすさを実感できるまちづくりを推進するため、各課の横のつながりを意識した取組みを展開していきます。

時代の変化に伴い、行政の役割は多様化しています。それらに対応していくために、デジタル技術を活用したスマート自治体の推進に取り組みながら業務の効率化を進め、よりきめ細かくで利便性に優れた市民サービスの提供に努めていきます。

※次のページからは、「第7次尾花沢市総合振興計画」の体系と、今年度の主な事業について詳しく掲載します。